

地域包括支援センター運営法人及び認知症強化型地域包括支援センター運営法人 募集にかかる応募事業者情報のマスキング（匿名化）について

地域包括支援センター運営法人及び認知症強化型地域包括支援センター運営法人の募集について、匿名性を確保するため、応募資料における事業者名称等のマスキング（匿名化）処理をお願いします。

1. 応募書類副本7部のマスキング（匿名化）処理（※応募書類（B）を使用する法人のみ必要）

（1）マスキング（匿名化）処理が必要な項目

①応募事業者の名称

例：「社会福祉法人 大阪福祉会」→「

②応募事業者の代表者氏名

例：「理事長 大阪 太郎」→「理事長 

上記①②以外の項目は、マスキング（匿名化）処理をする必要はありません。

例：電話番号、FAX番号、メールアドレス、住所、
事業者が運営する施設名称、施設外観、内部写真
従事者氏名、従事者顔写真、法人代表者顔写真
広報紙の「〇〇だより」の〇〇の部分 等

（2）マスキング（匿名化）のために必要な手順・作業について

①副本1部について、「応募事業者の名称」「応募事業者の代表者氏名」を、黒く塗りつぶしてください。写真、メールアドレスに入っている場合も含みます。

②応募書類事前点検の際に、地域包括ケア推進課が確認します。

③事前点検による確認後に、コピーを行い、副本7部を作成してください。

※正本については、マスキング処理の必要はありません。

※応募書類作成時に「応募事業者の名称」「応募事業者の代表者氏名」の記載箇所をなるべく少なくすると作成しやすいです。また、提出書類の文書中の表現について、「社会福祉法人 〇〇福祉会は…」とせず、「当法人は…」や「私たちは…」などと言い換えることも同様です。

※副本に編綴して「法人による原本証明」は不要です。

※副本の表紙、背表紙には法人名を記載しないでください。